

魅力にあふれ、活力のある創造都市

# 高松市創造都市推進ビジョン

－ 各 論 －

創造都市 | 高松

CREATIVE CITY TAKAMATSU

平成 25 年 10 月

高松市

## 目次

■ 主なプロジェクト	1
■ 交流空間：海園・田園とつながる人間都市プロジェクト	2
■ 食：フード・イノベーション・プロジェクト	6
■ 生活工芸：グローバルな生活工芸プロジェクト	10
■ 祝祭：ワールド&ローカル・フェスティバル・プロジェクト	14
■ 国際会議：コンベンション誘致プロジェクト	18
■ こども：クリエイティブ・チルドレン・プロジェクト	22
■ もっともっと創造的プロジェクト！	26
■ 創造的プロジェクト 事業一覧	28

## 主なプロジェクト

高松ならではの創造都市の実現に向けて、次の2つの視点から、短期的に取り組む施策・事業を「プロジェクト」として取りまとめ、実施していきます。

- 創造的な取組の芽吹きがあるプロジェクトであること
- 固定観念にとらわれない新たな方法（創造的アプローチ）によって、取組が行われ、その成果が期待されるプロジェクトであること

本市が短期的に取り組む主なプロジェクトは次の6つです。

交流  
空間

海園・田園とつながる人間都市プロジェクト

食

フード・イノベーション<sup>1</sup>・プロジェクト

生活  
工芸

グローバル<sup>2</sup>な生活工芸プロジェクト

祝祭

ワールド&ローカル・フェスティバル・プロジェクト

国際  
会議

コンベンション<sup>3</sup>誘致プロジェクト

子ども

クリエイティブ・チルドレン・プロジェクト

- 
- |           |  |
|-----------|--|
| 1 イノベーション | 革新、または新機軸を打ち出すこと。画期的な新技術やまったく新しい物事の仕組みを創造し、世の中に変革を促すこと。                                      |
| 2 グローカル   | グローバル（地球規模の）とローカル（地域的な）を掛け合わせた造語で、「地球規模の視野で考え、地域視点で行動する（Think globally, act locally）」という考え方。 |
| 3 コンベンション | 国内外の人達が行う各種大会や会議、見本市、イベントなどの催しのこと。   |

## ① 現状と課題

瀬戸内国際芸術祭の開催などを通じて、多島美を見せる瀬戸内海に国内外から注目が集まっており、女木島・男木島・大島などの活性化につながっています。このような活性化を、創造都市にふさわしい景観の維持・保全につなげていく必要があります。

また、日本三大水城の1つである高松城跡(玉藻公園)については、城郭を守り伝えるための取組や、盆栽や食など様々な分野と連携した文化財の活用により、城下町高松の顔としての魅力づくりに努めています。

高松市のまちなかと田園部をつなぐ地域の1つである仏生山地区では、近年、仏生山温泉が開設され、近隣の空き家を宿泊施設として利活用する取組が進められています。また、コミュニティセンターを中心として、地元住民によるまちづくり活動の情報発信や、法然寺へ向かう仏生山街道沿いの町並み保存に向けた取組も進んでおり、同じような取組が市内各地に広がることを期待されています。

讃岐山脈の麓に位置する塩江では、温泉街を中心とした従来からの地域活性化だけでなく、田園部ならではの自然を生かしたグリーン・ツーリズム<sup>4</sup>の取組が始まっており、今後もまちなかと田園部との交流促進が求められています。

高松市美術館や高松市塩江美術館、サンクリスタル高松、サンポートホール高松、屋島陸上競技場など、公共施設においても、より多くの人たちが交流する場が創出できるような、新たなソフト事業を展開していくことが重要です。

玉藻公園での  
和船体験事業

仏生山温泉



塩江の茶畑と山並み

商店街発のアニメイベント  
「キャラ☆フェス」

4 グリーン・ツーリズム

農業・農村生活を体験し、地域の特産物や豊かな自然や伝統文化を介した体験型レクリエーションを通じて、自然や地域の人と交流を深めながらゆとりや癒しの時間を過ごす余暇活動。

## ② プロジェクトの目的

市民や観光客がまちなかの公共空間で快適に交流できるとともに、まちなかと魅力あふれる海園・田園との結びつきを強め、都市全体の回遊のしやすさを高めることで、自慢したくなるまち・高松を目指します。

## ③ 取組イメージ

項目	詳細
<b>A</b> 公共空間における快適な交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 都市の魅力を再発見する「ウォーキング、ジョギング、サイクリングなど回遊したくなる高松」の推進（高松駅からまちなかへつながる観光ルートの開発など）</li> <li>b 公共空間のさらなる活用</li> <li>c 空き家や廃校等の活用</li> <li>d 道路を活用した交流イベント（カーフリーデー<sup>5</sup> やオープンカフェ<sup>6</sup> など）</li> <li>e 商店街の賑わい促進（サヌキロックコロシウム、キャラ☆フェスなど）</li> </ul>
<b>B</b> まちなかと海園の回遊	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 親しみやすい水辺空間の整備</li> <li>b 海から見たまち、女木島・男木島・大島の魅力発信</li> </ul>
<b>C</b> まちなかと田園の回遊	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 田園とまちなかをつなぐ「スマートサイクル<sup>7</sup>」の推進（コミュニティサイクルポートの整備）</li> <li>b 公共交通システムの充実による回遊性の向上</li> </ul>



- 5 カーフリーデー ヨーロッパを中心に、毎年9月22日に実施される。街の中心部ではマイカーを使う代わりに公共交通機関・徒歩・自転車などによって人々が移動したり、都市の交通・環境問題に関するシンポジウムや展示会が行われるなど、市民が交通や環境について考える一日型の社会イベント。
- 6 オープンカフェ 店舗スペースの一部を屋外形式にして、開放的な雰囲気の中でコーヒーや食事が楽しめるようにつくられた喫茶店またはレストラン。
- 7 スマートサイクル 人・地域・地球に優しい、自転車の共同利用のシステム。

#### ④ 主な取組事業

(○：既存事業 ◎：平成26年度実施予定 ●：平成27年度以降実施予定)

ア 創造支援センター運営事業	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>四番丁小学校跡地に整備された四番丁スクエア内に創造支援センターを設置し、創造性に富む発想や独自性のある技術を活用する新規事業者に活動拠点の提供などの起業支援を行います。</p> <p>今後は、創造支援センターの利用者と、スクエア内の市民活動センター利用者や地域コミュニティ協議会<sup>8</sup>などとの交流を持ち、新たな連携が生まれる場の創出を進めます。</p>	○ H24年度～

イ まちなかパフォーマンス事業	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>市民の文化芸術への関心を高めるとともに、まちかどに芸術のあふれる「アート・シティ高松」の実現と中心市街地の賑わいを創出するため、サンポート高松や丸亀町商店街などで、アートに関連した各種イベントを実施します。</p> <p>今後は、音楽やパフォーマンスなどを通して、市民や観光客が、まちなかにおいて文化芸術を気軽に楽しめる空間づくりを推進します。</p>	○ H22年度～



四番丁スクエア



まちなかパフォーマンス事業

8 地域コミュニティ協議会 主に小学校区を基準として、その地域内に居住する個人および所在する法人その他の団体を構成員とし、一の地域につき一に限り市長が認定したもので、自らの活動に責任を持って、自主的かつ自立的に地域のまちづくりに取り組む組織。

街なか居住事業	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>民間主導で行われる，商店街空き店舗の上層階を活用する，学生など単身者・若者世代用の居住スペースの整備を支援し，商店街周辺の居住人口の増加や街の活性化を図ります。</p> <p>合わせて，共益施設（多目的ホール等）が整備される場合には，メディアアート<sup>9</sup>の創造とも絡めながら，将来的に，芸術や音楽など創造産業<sup>10</sup>で活躍する人材が集う場所となることも期待されます。</p>	<p>● H27年度以降</p>

屋島活性化推進事業	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>屋島活性化に向け，屋島の有する特性・価値を将来にわたり継承しつつ，市民を始め，屋島を訪れる人々に広く知ってもらうため，「屋島活性化基本構想」に基づく，具体的施策・事業を迅速かつ効果的に実施し，世界に誇れる高松市のシンボル「屋島」としての再生を目指します。</p> <p>H28年春に完成予定の屋島陸上競技場については，競技場としてだけでなく，市民の憩いの場となるよう，イベント会場としての活用や地域の防災拠点としての役割を担うなど，市民に愛される活動拠点施設を目指します。</p>	<p>○ H25年度～</p>



街なか居住イメージ



屋島陸上競技場 再整備後イメージ

- 9 メディアアート | 芸術表現に新しい技術的発明を利用する，もしくは新たな技術的発明によって生み出される芸術の総称的な用語。
- 10 創造産業 | 映像・音楽・メディアアート・工芸などの創造的文化産業。

## ① 現状と課題

私たち、高松市民はこれまで、瀬戸内海でとれた新鮮な魚介類や温暖な気候で育った農産物、そして世界に誇れるソウルフードであるさぬきうどんなど豊かな食文化の中で育まれてきました。特に農産物は多種・多様な野菜・果物が生産されており、中でも果物については県オリジナル品種の栽培が盛んで品質の高さも評判です。

しかし、農家の高齢化や後継者不足に加え、耕作放棄地の増加が課題となっています。そうした中、市内の一部地域では、新規就農者の確保・育成と耕作放棄地の管理・再生に向けた取組が始まっています。農地に関する情報を新規就農者に提供するとともに、新規就農者への指導等に取り組んでいます。

また、農水産物の地産地消<sup>11</sup>を推進するため、市内でマルシェ<sup>12</sup>などが開催されるほか、道の駅<sup>13</sup>での産直の整備などが進められています。

## ② プロジェクトの目的

食の観点から農業や生活工芸に係る課題解決へのアプローチを行うとともに、健康や交流空間など多面的な観点から食を捉えることで、複合的な社会課題の解決を目指します。



高松産ごじまん品



たかまつ食と農のフェスタ



産直の様子

- |         |  |
|---------|--|
| 11 地産地消 | 地域で生産されたものをその地域で消費すること。また、その活動を通じて、農業者と消費者を結び付ける取組。  |
| 12 マルシェ | フランス語で市場のこと。近年、我が国でも農家や生産者グループが集まり、大規模に何十店舗も出店する形式で、生産者自らが商品を店頭販売するイベントが実施されており、それを「マルシェ」と呼ぶことが多い。 |
| 13 道の駅  | 国土交通省により登録されている休憩、地域振興の機能を持った道路施設のこと。地域性を活かした農産物直売所、売店、レストランなどを設置することが多い。                          |



### ③ 取組イメージ

項目	詳細
A 食べることまで考えた「農のある暮らし」の推進	<p>a 自らブランド化できる新規就農者等の育成・確保や田園風景の保全を目指した耕作放棄地の把握・管理・再生等の推進</p> <p>b 作付けから収穫，調理まで一貫して体験できるプログラムの作成・実施</p>
B 生活工芸を活用した，豊かなライフスタイル <sup>14</sup> の実現	<p>a 食事にあわせた，器などの生活工芸品の選び方，盛りつけ方，さらにはライフスタイルまで含めた提案の取りまとめ・発信</p>
C 食を中心としたコミュニケーション空間づくりの推進	<p>a スポーツ後の懇談や，音楽のある空間での食事など，「楽しい食卓」を経験できる取組の実施</p> <p>b ビジネスにも生きがいにもつながる農産物直売所や宅配・配食サービスの実施</p>
D 地元農水産物を取り入れた，体も心も元気になる食事の在り方の研究	<p>a 高松ならではの食を通じた食育<sup>15</sup>手法の開発・普及</p> <p>b 食の仕組みの理解だけでなく，味覚を多様な感情で表現する活動の実施など，こどもの表現力・創造力の育成に向けた幅広いプログラムの開発</p>



14 ライフスタイル 人々の生活様式，行動様式，思考様式といった生活諸側面の社会的・文化的・心理的な差異を全体的な形で表現したことは。

15 食育 食に関する教育。食料の生産方法やバランスのよい摂取方法，食品の選び方，食卓や食器などの食環境を整える方法，さらに食に関する文化など，広い視野から食について教育すること。

#### ④ 主な取組事業

(○：既存事業 ◎：平成26年度実施予定 ●：平成27年度以降実施予定)

高松ブランド農産物育成支援事業	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>消費者との地産地消を基本とした共生型農業を推進するため、市内で生産された新鮮で良質な農産物や加工品を「高松産ごじまん品」として市民に提供するとともに、情報発信やイベントの開催を通じて市内農産物の需要拡大と市民の健康で豊かな食生活の実現を図ります。</p> <p>今後も、食育・地産地消の推進，農産物のブランド化を推進するため，継続して事業を行っていきます。</p>	○ H15年度～

さぬきマルシェ in サンポート	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>瀬戸内の景観が一望できるサンポート高松において、対面により、生産者がこだわりの野菜や旬の果物、加工食品を販売するほか、地元シェフが県産食材を使った飲食を提供する欧風産直市を開催し、県産食材の認知度の向上とサンポート高松の賑わいづくりを図ります。</p> <p>主催 香川県 さぬきうまいもんプロジェクト実行委員会 さぬきマルシェ in サンポート実行委員会</p>	○ H23年度～



さぬきマルシェ in サンポート

市場DE自由研究事業	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>小学生およびその保護者を対象に，市場の流通の仕組みや機能を，夏休みにおける自由研究の題材として提供することにより，市場の役割などの知識を深めます。</p> <p>今後は，市場をより身近に感じていただけるような事業展開とともに，引き続き，市場流通の拡大に繋がるよう地産地消の題材も取り入れていきます。</p>	<p>○ H20年度～</p>

人・農地プラン推進事業	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>地域での話し合いに基づく適切な「人・農地プラン」の作成・実行により，農地集積や新規就農・経営継承を促し，農業の体質強化を図ります。</p> <p>今後は，本事業を有効活用し，農地の荒廃を防止するとともに新規就農者も含め担い手の定着による地域農業の活性化を図ります。</p>	<p>○ H24年度～</p>



市場DE自由研究



農業体験の様子

## ① 現状と課題

高松では江戸時代から高松松平家の産業奨励策により、茶道、華道、俳諧、漆芸、保多織、桐下駄、円座、提灯、松盆栽、張子、獅子頭などが盛んになりました。また、明治期に入ってから全国三番目となる香川県立高松工芸高等学校の設立や、戦後の讃岐民具連の取組など、民藝や伝統工芸に対する文化土壌が育まれてきました。



讃岐かがり手まり

全国的に伝統工芸の衰退が問題となる中で、近年ではものづくりの技術を日常生活に取り戻す取組が進められています。本市においても、高松ならではの伝統工芸や、市内の作家が制作する作品を展示・販売するライフスタイルショップ<sup>16</sup>が数カ所に開設されており、また、平成24年には玉藻公園および女木島において瀬戸内生活工芸祭が開催され、注目が集まっています。



円座

また、平成24年7月9日に国の重要文化財に指定された「披雲閣」を舞台に、高松の名品を作り出す「匠のおもてなし事業」が、瀬戸内国際芸術祭2013の開催に併せて催されました。庵治石・盆栽・漆器・陶器などがあしらわれた会場で、会席料理やスイーツを提供し、大盛況でした。



高松工芸高校

## ② プロジェクトの目的

自然や歴史・文化と結びついた伝統工芸や民藝の価値を再認識するとともに、高松ならではの生活工芸として、新たなものづくりにも価値を見出しながら、高松の魅力のひとつとして国内外に向けて発信し、事業活性化を図り、人材の育成に取り組みます。

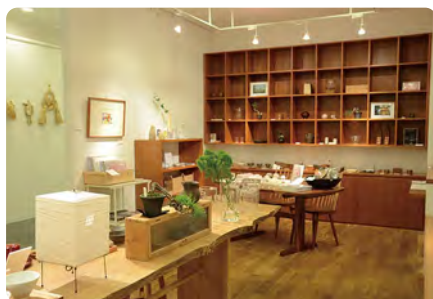


漆芸研究所

16 ライフスタイルショップ インテリアに限らず生活全般を彩るアイテムが揃う商店。商品だけでなく生活シーンまでを提案することが多く、それらを体現した形としてカフェを併設していることが多い。

### ③ 取組イメージ

項目	詳細
A 現代生活・様式に溶け込む新商品・サービスの開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 歴史文化に根づく工芸および技工の現代生活への応用・転換（石あかり・AJI PROJECT など）</li> <li>b 低価格帯での商品の開発（讃岐かがり手まりのストラップなど）</li> </ul>
B 高級工芸品の海外販路開拓支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 海外の富裕層を対象とした“ほんもの”の工芸品の販路開拓推進（展示会・商談会の出展支援）</li> </ul>
C 生活工芸を身近に感じるための裾野の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 従来技工を応用した低価格帯製品・サービスの開発</li> <li>b 作り手の現場を体験できる“ほんもの”志向のツーリズムの推進</li> <li>c 親子で学ぶ料理体験実施（調理から器の選び方までを体験できる料理教室の開催）</li> <li>d 観光客を対象とした生活工芸の紹介</li> <li>e 異なる分野（食や音楽など）を入口とした魅力の紹介（匠のおもてなし事業・BONSAI Cafe など）</li> </ul>
D 後継者・人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 素材の発掘から製品づくりまで全てを支援・管理できる人材の誘致・連携</li> <li>b 販路開拓に向けた人材育成</li> </ul>
E シティプロモーション <sup>17</sup> の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 高松の生活工芸の認知度向上に向けたプロモーション実施</li> </ul>



まちのシューレ963



讃岐かがり手まりのストラップ

子ども用漆器

17 シティプロモーション | 地域の魅力を創造し、それを地域の内外へと広めることで、その地域の価値や魅力を育てること。また、そのような取組を通じて、観光客や転入者を増やしたり、住民に誇りや地元愛を根づかせたりすること。

#### ④ 主な取組事業

(○：既存事業 ◎：平成26年度実施予定 ●：平成27年度以降実施予定)

ア 瀬戸内生活工芸祭	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>香川におけるものづくりの伝統と事業の未来を、若い世代に語り継ぎながら、交流と創造を生み出す「クラフトフェア<sup>18</sup>」と「島ギャラリー」を実施し、地域の活性化を図ります。</p> <p>公募による工芸作家の作品展示販売、香川県の食を中心としたマルシェの開催、島ギャラリー、香川のものづくりを伝えるお話し会などを開催します。</p>	<p>○ H24年度 ◎ H26年度</p>

イ BONSAI Cafe	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>丸亀町ドーム広場や玉藻公園などで、「BONSAI」をキーワードにして、つながる「いい感じ」のものが集まるカフェを開催し、盆栽の新たな魅力を発信しています。</p>	<p>○ H22年度～</p>



瀬戸内生活工芸祭



BONSAI Cafe

18 クラフトフェア | 木工・陶磁・染織・金工・ガラスなど、手づくりの作家が集まるイベント。

AJI PROJECT	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>地元の石材事業者の加工技術を活かして、暮らしに寄り添う庵治石商品の開発・販路開拓に取り組みます。</p> <p>石材産地である強みを生かし、地域資源である「庵治石」を素材として、消費者の日常生活に「付加価値」を与える新商品の開発に取り組み、石材産地としてのブランドの再構築を行うことで、地場産業の振興を図ります。</p> <p>主催：高松市牟礼庵治商工会</p>	<p>○ H20年度～</p>

匠のおもてなし事業	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>重要文化財の指定を受けた披雲閣を中心として、高松城跡（玉藻公園）の観光拠点としての知名度アップと本市特産品のPR・普及を推進し、観光客の増加や、文化芸術活動の活性化を図るため、特産品である庵治石作品（石あかり）、盆栽、漆器等の展示販売を行うとともに、地元食材を使った食の提供などを行います。</p>	<p>○ H24年度～</p>



AJI PROJECT



匠のおもてなし事業

## ① 現状と課題

地域には文化芸術・スポーツなど、多様な分野において活動する数多くの市民団体が市内の賑わいづくりに貢献しています。地域コミュニティの土壌を背景として、近年では国内だけでなく、国際的にも発信力のあるイベントが、多数開催されています。

また、瀬戸内海に注目が集まる契機となった「瀬戸内国際芸術祭」、現代における生活工芸の価値を見出す「瀬戸内生活工芸祭」、国内生産量の8割を占める松盆栽を世界へ発信した「アジア太平洋盆栽水石高松大会」、庵治石の活性化と源平史跡のPRを行う「むれ源平石あかりロード」、香川県を舞台とした映像企画の発掘などを行う「さめき映画祭」、若いピアニストの発掘・育成を目的とした「高松国際ピアノコンクール」、また「あ・うんの数寄大茶会」、「サポート高松トライアスロン」、「瀬戸内サーカスファクトリー」などの振興イベントも挙げられます。

さらに、瀬戸内海に面する高松市は、鉄道や高速道路、フェリーなど交通の要所としても機能しています。

高松空港は、国内線が2航路(羽田・沖縄)あり、国際線としてソウルと上海に加えて、平成25年3月には台北への定期就航路線が開設され、また、平成25年12月には成田への定期就航路線の開設が予定されています。国内外の集客が期待される中、今後は集客力が高まった環境をどのように活用していくかが課題です。



東谷農村歌舞伎



地域の獅子舞



あ・うんの数寄大茶会



高松国際ピアノコンクール



## ② プロジェクトの目的

寛容性のある文化土壌を活かし、市民が参加したくなるイベント・祭りの開催を通じて、地域力の向上を図るとともに、市をあげて「おもてなしの心」をもって国内外の誘客に取り組みます。

## ③ 取組イメージ

項目	詳細
A 地域力向上に向けた祝祭の開催	<p>a 日頃の生活や地域・集落と強く結ばれた獅子舞などに代表される“こんまい”地域の祭りや高松まつり、仏生山大名行列などのイベントの開催支援</p> <p>b 国際イベントに対する市民参加の機会提供（次世代人材の育成）</p>
B 祝祭を通じたブランディング <sup>19</sup> ・プロモーション	<p>a イベント・祭りの国内外への発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬戸内国際芸術祭【アート】、瀬戸内生活工芸祭【工芸】、むれ源平石あかりロード【庵治石】、サンポート高松トライアスロン【スポーツ】、さぬき映画祭【映画】、高松国際ピアノコンクール【音楽】、瀬戸内サーカスファクトリー【演劇・舞踏】、さぬき高松まつり【祭り】など</li> </ul>



瀬戸内国際芸術祭2013



サンポート高松トライアスロン

19 ブランディング | そのものの価値を向上させること。また、競合する企業や製品との違いを明確に提示することで、顧客や消費者の関心を高め、購買等の活動を促進すること。

#### ④ 主な取組事業

(○：既存事業 ◎：平成26年度実施予定 ●：平成27年度以降実施予定)

ア 瀬戸内国際芸術祭	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>文化芸術の振興と、瀬戸内の活性化や地域振興を、世界に向けての情報発信に寄与するため、現代アートの作家や建築家と協働する国際的な芸術祭と位置付けて、県・関係市町および福武財団等とともに開催する瀬戸内国際芸術祭を推進していきます。</p> <p>瀬戸内国際芸術祭 2013 においては、市独自の関連事業を積極的に実施し、内陸部への観光客の誘客も図り、高松市の活性化につなげていきます。</p> <p>今後は、できるだけ多くの作品について、継続展示が行われるよう瀬戸内国際芸術祭実行委員会に要望し、島の賑わいづくりを始め、活性化に生かしていくとともに、次回開催(平成28年)の準備を進めていきます。</p>	<p>○ H22年度 (7/19～10/31)</p> <p>○ H24・25年度 (3/20～4/21 7/20～9/1 10/5～11/4)</p> <p>● H28年</p>

イ サポート高松トライアスロン	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>サポートエリアの海と高松市中心市街地を会場に、日本全国・世界から幅広い選手たちが参加できる日本屈指の都市型トライアスロン大会「サポート高松トライアスロン～瀬戸内国際体育祭～」を共催し、参加者および市民の心と体の健康づくりを推進するとともに、本市およびサポート高松のPRなど、活力あるまちづくりの促進を図ります。</p> <p>今後、より多くの人々が観戦しやすい環境づくりにも留意し、多様な人々との交流、大きな感動、充実感が生まれる時間・空間の創出を進めます。</p>	<p>○ H22年度～</p>

ロ 高松盆栽大会	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>平成 23 年度に本市を中心に開催されたアジア太平洋盆栽水石大会(ASPAC)を契機に、認知度が向上している本市特産品である松盆栽のPRと、国内外に向けての販路拡大による生産振興を図るため、平成 26 年度に高松盆栽大会を開催します。</p>	<p>◎ H26年度</p>

高松国際ピアノコンクール	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>音楽芸術の振興と国際的な文化交流を図ることにより、地域に根ざした文化芸術の創造と振興に寄与することを目的として、民間主導により行われる国際的なピアノコンクールの開催を支援します。</p> <p>第3回高松国際ピアノコンクール（平成25年度開催）においては、同コンクール組織委員会の実施事業以外に、本市と組織委員会が連携した取組として、コンクール審査員によるリサイタル<sup>20</sup>と公開レッスンを実施し、本市の音楽文化の交流の場を広げるとともに、その発展を目指していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ H17年度</li> <li>○ H21年度</li> <li>○ H25年度</li> <li>● H29年度</li> </ul>

むれ源平石あかりロード	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>地元庵治石の普及振興を始め、地域の賑わいづくりを目的として始めた事業で、市としては、源平屋島地域活性化事業を通して、後援しています。</p> <p>期間中の毎週土曜日に限定したライブなどの多彩なイベントを始め、企画展示や観覧参加者が審査するコンテストの実施など、毎年、県内外から多数の参加者を集める事業として注目されています。</p> <p>主催：むれ源平石あかりロード実行委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ H17年度～</li> </ul>



むれ源平石あかりロード

20 リサイタル | 演奏会の一形式である独唱会または独奏会を表す音楽用語。

### ① 現状と課題

高松港のウォーターフロント<sup>21</sup>（旧高松貨物駅跡地）を再開発したサンポート高松は、JR高松駅や高松シンボルタワー、JRホテルクレメント高松、高松サンポート合同庁舎、高松港旅客ターミナルビルなどの大規模施設が立地しており、「瀬戸の都」としてのより効果的な活用が期待されています。

市内には国際会議場やサンポートホール高松、アルファあなぶきホール、サンメッセ香川といった大型の会議場も整備されており、香川県や高松観光コンベンション・ビューローとの協力・連携を通じて、近年の潮流である MICE の開催・誘致が求められています。

MICEとは	<b>M</b> eeting	： 会議
	<b>I</b> ncentive Travel	： 企業報奨・研修旅行
	<b>C</b> onvention	： 国際会議
	<b>E</b> xhibition	： 展示会

あわせて、瀬戸内海に臨むサンポート高松の絶好の景観や中央商店街周辺で味わうことができる海の幸や山の幸など、国際会議の開催前後も高松を満喫していただくための受け入れ態勢の充実が必要です。

平成 25 年には第 4 回古代山城サミット高松大会や中四国・瀬戸内クルージングサミットなどが開催され、地域間交流の促進が図られています。

### ② プロジェクトの目的

海園・田園の魅力を生かした会議のかたちを提案するなどして、コンベンション(国際会議)や企業報奨・研修旅行・展示会等の MICE 誘致に取り組み、高松を訪れてもらうことで、多くの人に高松の魅力を伝え、効果的なシティプロモーションにつなげます。



かがわ国際会議場



栗林公園



古代山城サミット

21 ウォーターフロント

海・川・湖などに面する水際の地帯。近年では、過密化する都市の新たな開発区域としての港湾、臨海部を指すことが多い。

### ③ 取組イメージ

項目	詳細
<b>A</b> ウォーターフロントを活用した高松ならではの会議のかたちの企画・提案	<p>a 主要空港～高松, 会議場～宿泊施設など移動時間や移動手段そのものもアクティビティ<sup>22</sup>として魅力にしていくな取組の実施</p> <p>b 既存の「サンポート高松トライアスロン」や「あ・うんの数寄大茶会」などを発展させた企画の提案</p> <p>c お遍路会議・マリンスポーツ会議・晴れの日会議・うどん会議・水会議・海会議など, 新たな催しの企画・開催</p>
<b>B</b> 国際会議・シンポジウムの誘致	<p>a サンポート高松に集積するコンベンション関連施設の活用</p> <p>b 高松観光コンベンション・ビューローによる誘致促進の強化</p> <p>c 栗林公園や玉藻公園, 島しょ部, 塩江, 仏生山など, 高松らしさを生かせる場所での会議等の受け入れ態勢の整備</p>
<b>C</b> 飲食施設・宿泊施設と連携したサービスの実施	<p>a 瀬戸内海の優雅さを堪能できるサービスの実施</p>
<b>D</b> オプションツアー <sup>23</sup> の実施	<p>a コンベンション参加者の帯同者（配偶者や子どもたち）も楽しめる個人型ツアーの企画・運営 (例:瀬戸内海クルーズ, 匠のおもてなし事業, 高松あじのみ物語)</p>
<b>E</b> 観光客へのおもてなしの心	<p>a JR高松駅など主要施設等での案内板の充実</p> <p>b 訪日外国人旅行者も安心してまちなかを回遊できる標識の多言語化</p> <p>c まちなかでのコンシェルジュサービス<sup>24</sup>の実施</p>



サンポート高松

22 アクティビティ

23 オプションツアー

24 コンシェルジュサービス

活動。リゾート地などでの様々な遊びについていうことが多い。

自由行動時間に、希望者が別料金を支払って参加する小旅行。

客が何でも相談できる窓口を設け、それに対して豊富な知識に基づいてそれぞれに合った提案をするようなサービスのこと。

#### ④ 主な取組事業

(○：既存事業 ◎：平成26年度実施予定 ●：平成27年度以降実施予定)

ア 第4回日仏自治体交流会議	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>日仏両国の自治体関係者が一堂に会し、行政課題や先進施策等について、発表・議論を行い、両国の地方自治の発展に寄与することを目的とした「第4回日仏自治体交流会議」を平成26年10月、本市において開催します。</p> <p>この会議の開催は、自治体交流の促進はもとより、本市の魅力の日仏の自治体を始め、国内外に発信していく絶好の機会であり、関連行事の開催も含め、創造都市の推進に弾みをつけていきます。</p>	◎ H26年度

イ 訪日観光客誘致事業	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>高松観光コンベンション・ビューローに補助金を交付し、中国・台湾・韓国からの旅行者のさらなる増加を図るため、訪日観光客誘致スタッフを配置し、市場調査の実施やJNTO（日本政府観光局）主催のインセンティブマート<sup>25</sup>への参加、団体旅行招聘開催負担金の拠出などを通じて、本市の観光プロモーションを行います。</p>	○ H23年度～



第3回日仏自治体交流会議の様子  
(フランス シャルトル市)

25 インセンティブマート | 報奨旅行（インセンティブ）の見本市（マート）。

アート・シティ高松推進事業	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>世界的な観光資源である直島や「瀬戸内国際芸術祭」の会場となる島々を巡るためには、本市を滞在の拠点とすることが至便であり、海外版インターネット広告「アート・シティ高松」を発信するほか、団体旅行において観光客誘致を積極的に推進する目的で、旅行会社に対してインセンティブ施策<sup>26</sup>を実施します。</p> <p>また、瀬戸内国際芸術祭2013の開催に併せ、男木島・女木島・大島や市内へ観光客を受け入れる態勢の整備およびPRを行います。</p>	<p>○ H20年度～</p>



アート・シティ高松トップページ



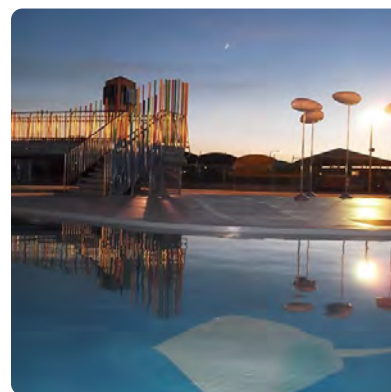
女木島のアート作品



高松港のアート作品



男木島のアート作品



高松市民プールのアート作品

26 インセンティブ施策 | 顧客の需要を刺激・奨励・誘引するための施策。

## こども クリエイティブ・チルドレン・プロジェクト

### ① 現状と課題

長引く景気の低迷や雇用形態の多様化に伴い、家庭でこどもと過ごす時間の減少や、子育てについて不安や孤立感を感じる保護者の増加など、家庭教育に関する課題が多様化しています。保護者に対する学習の機会や情報提供を充実させ、家庭の教育力の向上を図る必要があります。

また、都市化や価値観・ライフスタイルの多様化などにより、自治会加入率が低下するなど、地域での人間関係が希薄化しています。家庭生活や集団生活を営む上で必要なルールやマナーは、地域との関わりの中で醸成されるところが大きく、地域コミュニティを活用しながら、地域ぐるみでこどもを育むための機会づくりに努め、地域の教育力の向上を図ることが必要です。

学校においては、こどもたちの社会性や豊かな人間性を育むための体験活動や、こどもたちが創造性を発揮し、様々な課題を主体的に解決できるような施策を充実させることが求められています。

本市では、イタリアのレッジョ・エミリア市<sup>27</sup>の取組を参考に全国に先駆け、保育所・幼稚園に芸術家を派遣する先進的な取組を平成 21 年度から実施しています。芸術士とは、こどもたちに芸術に触れる機会を提供するアーティストの総称であり、こどもたちと造形・絵画・音楽など様々な表現活動を行うことによって、こどもたちの感性や創造力を育むことを目的としています。このような高松ならではの「こども」に係る取組を推進していくことは、高松ブランドの創出・発信につながります。



芸術士の活動

### ② プロジェクトの目的

これからの高松を担うこどもたちを、家庭だけでなく地域コミュニティや学校等が一体となって多様性・寛容性をもって育むことで、創造性を発揮できるこどもに育てていきます。

27 レッジョ・エミリア市 | イタリア共和国エミリア＝ローマニャ州にある都市（人口 16 万人）。まちをあげての芸術教育と幼児教育に対して、世界中から注目が集まっている。



### ③ 取組イメージ

項目	詳細
A こどもの創造力を育てる取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>a こどもの多様な興味関心に応えることのできる環境整備の拡充（自然科学，工芸，音楽，演劇，映画，スポーツ，食育，芸術士の確保・育成）</li> <li>b 企業に子どもたちを呼んで職業体験してもらう「リアルキッズニア<sup>28</sup>」の実施</li> <li>c 高松の文化・伝統・歴史・気候・地形などをより深く学び，世代間や都市間の交流を深めていく仕組みづくり（小・中学校の校外活動と連携した，地域資源を体験できる取組の強化）</li> </ul>
B 文化としてのスポーツの魅力活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>a スポーツを通じてあいさつなどの礼儀作法を学んだり，あきらめない心や，自己肯定につながる「達成感」を感じることで，こどもの可能性を引き出す取組の実施</li> <li>b 地域に複数のプロスポーツチームを有する強みを生かした，子どもたちの向上心を育むための，トップアスリートとの交流促進</li> </ul>
C こどもの遊び環境の充実や子育て支援拠点施設の整備・管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>a こどもの個性を尊重し，よりよく伸ばしていく「寛容性」を保護者やまわりの大人・地域・社会が持ちながら見守る創造的な教育環境作りの推進</li> <li>b 自然科学などの技術・テクノロジーを体験できるプログラムの提供</li> <li>c 「こども未来館（仮称）」の充実</li> <li>d ゴミ処理施設と連携した，レミダ（イタリアで取り組まれている廃材等をリサイクルした素材を活用した芸術作品づくりの取組）の実施</li> </ul>



「こども未来館（仮称）」整備イメージ

28 キッズニア | メキシコや日本など，世界中で展開されている子ども向けの職業体験型テーマパーク。

#### ④ 主な取組事業

(○：既存事業 ◎：平成26年度実施予定 ●：平成27年度以降実施予定)

ア 芸術士派遣事業	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>芸術士が高松市内の公私立の保育所・公立幼稚園・こども園を分担し、日々の保育・教育の中で保育士等と連携しながら、子どもたちと造形活動や身体表現など様々な表現活動をしています。</p> <p>芸術士は、子どもたちの無限の可能性を信じ、子どもたちの感性と創造力を最大限に引き出す手助けをし、子どもたちと社会を繋ぐ架け橋として子どもたちの創造力の育成に努めています。</p>	○ H21年度～

イ 地域密着型トップスポーツチームの活用	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>カマタマーレ讃岐など4つの地域密着型トップスポーツチームを活用し、学校訪問や試合への無料招待など、子どもたちに直接選手等に触れ合う機会を提供することで、子どもたちの向上心や創造力の育成を図ります。</p> <p>今後、県やトップスポーツチームと連携を図りながら、様々な手段を通じ、より多くの子どもたちにトップスポーツチームの選手等と触れ合える機会を提供していきます。</p>	○ H23年度～



高松ファイブアローズ



カマタマーレ讃岐



香川アイスフェローズ



香川オリーブガイナース

📦 ものづくりふれあい教室事業	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>小・中学生を対象に、ものづくりにチャレンジしながら、文化の創造に関心を深め、いかにものづくりが大切かを体験する機会を提供します。</p> <p>平成 25 年度制定予定の「高松市文化芸術振興条例（仮称）」および条例制定後に策定する振興計画において、事業の在り方や拡充等についても検討しています。</p> <p>今後は、工芸の視点も取り入れ、こどもたちに日本の伝統文化の魅力も伝えていきます。</p>	<p>○ H12 年度～</p>



📦 学校巡回芸術教室・能楽教室事業	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>小・中学生の情操教育の一助とし、健全育成に資するため、学校巡回形式で、生の優良な芸術や古典芸能を鑑賞し、体験する機会を提供します。</p> <p>今後は、平成 25 年度制定予定の「高松市文化芸術振興条例（仮称）」および条例制定後に策定する振興計画において、事業の在り方や拡充等についても検討するとともに、能楽、歌舞伎などの伝統芸能を身近に鑑賞、体験できる機会の提供（ホール公演、薪能等）についても検討していきます。</p>	<p>○ S54 年度～ 学校巡回芸術教室</p> <p>○ H11 年度～ 学校巡回能楽教室</p> <p>◎ H26 年度～ 伝統芸能の公演等の事業</p>

# もっともっと創造的プロジェクト！

(○：既存事業 ◎：平成26年度実施予定 ●：平成27年度以降実施予定)

ア 瀬戸内メディアアート祭（仮称）	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>「瀬戸内メディアアート祭（仮称）」を開催し、高松の魅力をメディアアートによって表現します。コンテストでは動画部門と静止画部門でグランプリ・準グランプリを決定・表彰し、優秀な作品については、高松市が制作するプロモーション映像やパンフレットのイラスト・ロゴなど、広報・PRのために使用できるようにします。</p>	<p>● H27年度以降</p>

イ 山間部，島しょ部でのサテライト・オフィス <sup>29</sup>	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>瀬戸内海や緑深い山間部の魅力を生かして，交流人口の増加や地域経済の活性化を図るため，塩江町や女木島，男木島などの市有施設等にIT系ベンチャー企業<sup>30</sup>等が活動できるサテライト・オフィスの誘致を検討します。</p>	<p>◎ H26年度実施予定</p> <p>※ブロードバンド<sup>31</sup>網の整備や誘致施設の確保，地元との調整が必要</p>

- 29 サテライト・オフィス 事業所と離れた場所に，事業所の一機能を受け持つ事務所などを設置すること。職住近接を推進するために郊外に居住する従業員向けの事務所を設置する例がある。
- 30 ベンチャー企業 情報技術（IT）等の新技術や高度な知識を軸に，大企業では実施しにくい創造的・革新的な経営を展開する中小企業を指す。
- 31 ブロードバンド 高速・大容量のデータ通信が可能な回線のこと。一般には，ADSL や光ファイバーを使った，月額固定料金制のインターネットサービスを指す。

市民活動センター（四番丁スクエア内）のクリエイティブ化	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>四番丁スクエアは、ボランティアやNPOなどの市民活動、コミュニティ活動を支援し、連携と交流を育むまちづくりの拠点となる「市民活動センター」や、創造性に富む発想や独自性のある技術を活用した新規事業者を支援する「高松市創造支援センター」、埋蔵文化財の調査・研究・展示・情報提供を行う「埋蔵文化財センター」を含む施設です。</p> <p>今後は、高松に暮らす創造的人材が集い、育成する中心的役割を担う場所（ひとづくり学校）として、市民活動センターのさらなるクリエイティブ化を目指します。</p>	<p>○ H24年度～</p>

企業の育成・誘致による経済活性化	
事業概要	実施時期 実施条件
<p>温暖な気候で、地震や台風などの災害が少ないことや、関係官庁や大手企業の支社・支店が比較的中心部に集結していることなど、高松市の利点を強調し、国、県、金融機関等と連携する中で、効果的な企業誘致をより積極的に実施していきます。あわせて、市内の成長企業を積極的に支援することにより、地域の雇用の増加を図りたいと考えています。</p> <p>芸術・文化・デザイン等の知的創造サービス業の助成要件を緩和し、本市の特色を生かした企業誘致活動をさらに進めます。</p>	<p>○ H21年度～</p>

# 創造的プロジェクト 事業一覧

## 交流空間

事業名	実施時期	ページ
1 創造支援センター運営事業	○ H24年度～	P4 再掲
2 まちなかパフォーマンス事業	○ H22年度～	P4 再掲
3 街なか居住事業	● H27年度以降	P5 再掲
4 屋島活性化推進事業	○ H25年度～	P5 再掲
5 ため池景観整備維持管理事業	○ H3年度～	
6 古代山城屋嶋城跡城門遺構整備事業	○ H19年度～	
7 史跡・天然記念物屋島活用事業	○ H23年度～	
8 高松城跡等整備事業	○ H10年度～	
9 高松城跡（玉藻公園）を活かした観光振興事業	○ H25年度～	
10 グリーン・ツーリズム推進事業	○ H21年度～	
11 塩江地域自立再生事業	○ H25年度～	
12 高松市南部地域スポーツ施設（仮称）整備事業	● H27年度以降	
13 ヨット競技場再整備事業	● H27年度以降	
14 ブリーザーズスクエア運営事業	○ H21年度～	
15 高松市美術館サポートショップ事業	○ H24年度～	

## 食

事業名	実施時期	ページ
1 高松ブランド農産物育成支援事業	○ H15年度～	P8 再掲
2 さぬきマルシェ in サンポート	○ H23年度～	P8 再掲
3 市場 DE 自由研究事業	○ H20年度～	P9 再掲
4 人・農地プラン推進事業	○ H24年度～	P9 再掲
5 遊休農地有効活用事業	○ H21年度～	
6 たかまつ市場フェスタ事業	○ H19年度～	
7 市場特別開放事業	○ H22年度～	

## 生活工芸

事業名	実施時期	ページ
1 瀬戸内生活工芸祭	○ H24年度 ◎ H26年度	P12 再掲 P12 再掲
2 BONSAI Cafe	○ H22年度～	P12 再掲
3 AJI PROJECT	○ H20年度～	P13 再掲
4 匠のおもてなし事業	○ H24年度～	P13 再掲

## 祝祭

事業名	実施時期	ページ
1 瀬戸内国際芸術祭	○ H22年度	P16 再掲
	○ H24・25年度	P16 再掲
	● H28年	P16 再掲
2 サポート高松トライアスロン	○ H22年度～	P16 再掲
3 高松盆栽大会	◎ H26年度	P16 再掲
4 高松国際ピアノコンクール	○ H17年度	P17 再掲
	○ H21年度	P17 再掲
	○ H25年度	P17 再掲
	● H29年度	P17 再掲
5 むれ源平石あかりロード	○ H17年度～	P17 再掲

## 国際会議

事業名	実施時期	ページ
1 第4回日仏自治体交流会議	◎ H26年度	P20 再掲
2 訪日観光客誘致事業	○ H23年度～	P20 再掲
3 アート・シティ高松推進事業	○ H20年度～	P21 再掲

## こども

事業名	実施時期	ページ
1 芸術士派遣事業	○ H21年度～	P24 再掲
2 地域密着型トップスポーツチームの活用	○ H23年度～	P24 再掲
3 ものづくりふれあい教室事業	○ H12年度～	P25 再掲
4 学校巡回芸術教室	○ S54年度～	P25 再掲
能楽教室事業	○ H11年度～	P25 再掲
伝統芸能の公演等の事業	◎ H26年度～(実施予定)	P25 再掲
5 劇団四季ミュージカル「こころの劇場」	○ H22年度～	

## もっともっと創造的プロジェクト！

事業名	実施時期	ページ
1 瀬戸内メディアアート祭（仮称）	● H27年度以降	P26 再掲
2 山間部、島しょ部でのサテライト・オフィス	◎ H26年度 (実施予定)	P26 再掲
3 市民活動センター(四番丁スクエア内)のクリエイティブ化	○ H24年度～	P27 再掲
4 企業の育成・誘致による経済活性化	○ H21年度～	P27 再掲

# 2013-2018

## 高松市創造都市推進ビジョン

発行：平成25年10月

高松市創造都市推進局 産業振興課

〒760-8571

高松市番町一丁目8番15号

TEL (087)839-2411 FAX (087)839-2440

E-mail [shoukou@city.takamatsu.lg.jp](mailto:shoukou@city.takamatsu.lg.jp)

